

パブリックコメント まとめ

番号	関連ページ	意見の内容（要旨）	市の考え方
1	全体	全体的に字が多く、伝わりにくい	要旨が伝わるよう概要版を作成する。
2	全体	表や図解があり、読みやすかった	
3	P.9 P.18	SDG s を知らない中学生が多いと思う。 「2、飢餓をゼロに」⇒「給食を残さず食べよう」など、学校生活と結び付けたポスターを作成し、SDG s の周知とともに大館市の環境をみんなで作りたい。	「給食を残さず食べる」ことは、「12、つくる責任・つかう責任」のターゲット12.5である「廃棄物の発生を大幅に削減する」にもつながる。SDG s と関連づけることで、市民、事業者、行政それぞれの目標や行動を共有することが出来るので、SDG s の周知も併せて実施する。（第4章・施策1、6）
4	P.13	コロナ禍、100年に一度のパンデミック下での作成された本計画であるのなら、もっと強調されるべきでは	新型コロナウイルス感染症については、現段階で不確定要素が多分にあり、国や県の動向を見守る必要がある。本計画では、その不確定要素を視野に入れ、感染リスクに備えるとともに、環境と経済の好循環を実現出来るような施策を推進する。（第4章・施策4）
5	P.17 P.25 P.48	行政は補助制度を充実させることは大切だが、補助がなければやらない、といった社会であってはならないと思う。未来へ豊かな自然を残すことを疑いなく選択する社会、おおだてであるよう環境意識の向上を叫び続けることも重要ではないか。	環境に配慮するきっかけのひとつとして、補助制度を検討すると同時に、広報活動や環境教育の充実を図っていく。（第4章・施策6）

6	P.22	<p>ゴミ排出量の抑制や資源化率の向上については、市民や事業者の協力が必要だと思いが、大館市の現状では、一人・一日あたりのごみ排出量や資源化率は全国的に見ても低水準である事を明確に示した方が取り組みやすいのではないか。</p>	<p>市民には可能な限り正確な情報を提供し、問題意識を共有して、市民、事業者行政がそれぞれの役割を認識し協働で取り組んでいきたい。（第4章・施策1、6）</p>
7	P.33	<p>市民が公共交通機関を積極的に利用するために、ICTも活用した交通手段の研究をお願いしたい。</p>	<p>公共交通機関の利用促進は、温室効果ガスの削減につながる取り組みと位置づけている。市民が利用しやすい公共交通機関については大館市都市計画マスタープランで検討していく。（第4章・施策3）</p>
8	P.34	<p>空き屋対策で、倒壊被害の拡大について対策する事はとてもすばらしいが、美観を損ねる倒壊家屋にも積極的な関与をお願いしたい</p>	<p>倒壊家屋については「空家対策の推進に関する特別措置法」において段階的に措置することになっており、美観や歴史的風致をまもり安心して暮らせる都市の実現を目指したい。（第4章・施策3）</p>
9	P.36	<p>大館市がこれまで取り組んできた堆肥化や小型家電の回収、廃食用油の分別回収、さらに3R推進プラザの実績の評価や方向性を明確にすべきではないか</p>	<p>現状を分かりやすく説明するため、3Rの推進における主な事業を追記した。（第4章・施策4）</p>
10	P.38 P.40	<p>廃棄物処理からのエネルギー回収のみならず、本格的な発電が必要ではないか。</p>	<p>現時点では、廃棄物処理施設の廃熱利用による発電や熱エネルギーの効率的な利用を考えているが、今後再生可能エネルギーによる発電や地産地消について検討する。（第4章・施策4、5）</p>
11	P.45	<p>高効率の設備の設置について、ランニングコストを考慮したライフサイクルコストの考え方を訴えて推進したほうが市民は受け入れやすいのでは。</p>	<p>ゼロカーボンシティの実現は、温室効果ガス排出の抑制が必要であり、高効率設備への切り替えが必要。環境へ与える影響とコスト面でのメリットも併せて周知したい。（第4章・施策5、6）</p>
12	P.48	<p>高齢化さらにコロナ禍で情報をとれない独居老人が増えると思われる。対策の検討を。</p>	<p>大館市公式くらしとごみアプリの活用や、地域のコミュニティを活用した見守り・情報発信等の活動を推進したい。（第4章・施策6）</p>